

かんてつ 貫徹通信

発行責任者：おおや 徹

発行日 2015年4月 【第22号】

発行者 大矢 徹

連絡先 0466(23)5711

<http://www.ohya-toru.com/>

[mail:ohya.toru@gmail.com](mailto:ohya.toru@gmail.com)

2月定例議会報告



2月藤沢市議会定例会が、2月16日から3月19日までの日程で開催されました。

主な内容は、平成27年度一般会計予算他10特別会計予算、平成26年度一般会計及び特別会計補正予算、藤沢市子どもをいじめから守る条例の制定、藤沢市財政調整基金条例及び藤沢市環境基金条例の一部改正、藤沢市歯及び口腔の健康づくり推進条例の制定などです。私は、市側が提案した議案に賛成し、すべて可決されました。

なお、平成27年度一般会計予算は、1,359億2,000万円で前年比103.5%、特別会計予算は、1,307億6,860万4千円で前年比108.2%、合計2,666億8,860万4千円で前年比105.8%となりました。

【平成27年度予算に対する意見・要望】

平成27年度予算に対して、各会派の討論が行われ、私が所属する「かわせみクラブ」からは、永井議員が賛成の立場で討論を行いました。概要は次のとおりです。

【行政運営について】

市政運営を進めるうえで、中心的な役割を担うのは市の職員であり、職員が元気にやりがいをもって仕事ができることは、市政運営を進め市民福祉を増進するために必要なことである。年休の取得、時間外の縮減、ワーク・ライフ・バランスの推進など、具体的に改善されるように環境を整備していただきたい。

藤沢市民病院の看護部門については、年休が取得できない、時間外勤務をしても申請できない、育児に対する理解が得られず退職を余儀なくされているなどの状況があり、看護師がモチベーションを保ち働き続けられる職場環境にない。抜本的な改善を強く求める。

【文化行政について】

ユネスコが提唱している「創造都市」という概念がある。文化庁が「文化芸術創造都市」制度を設けて各自治体への支援を行っており、横浜や神戸、札幌、名古屋など、日本を代表する都市が文化創造、発信に取り組んでいる。本市にも、市民オペラなど全国に誇るべき文化創造がある。歴史や伝統文化を守っていくことも大切だが、新進気鋭の気風を持つ藤沢市には、新しい文化の創造が相応しいと思う。

現在、藤沢市に美術館はないが、本市の状況からして美術館を持つことは決して無理な話ではない。市民会館の建替えの具体的議論の際、美術館の併設などの検討を求める。

【子ども・若者育成支援事業について】

「ユースワークふじさわ」を利用する若者の中には、困難を抱えている方もおり、必ずしもすぐに就労に繋がらない場合もある。一人ひとりのケースに応じた細やかな自立支援を重視することを継続していただきたい。特に児童養護施設の退所後に就職ができず、生活困窮に陥るケースが多いと聞いている。昨年神奈川県が辻堂に開設した、「あすなるサポートステーション」との連携を求める。

【電力の地産地消について】

新電力会社の活用による1億3,000万円の財源効果を拡充するため、施設ごとに電力料金を把握することが必要だと考える。また、容器包装プラは収集・中間処理にかかる手間と費用の割に有効にリサイクルされているとは言えない。

再資源化するには洗浄が必要で水資源を用いて下水処理に負荷をかけている。汚れが付着したプラは可燃ごみと同一分類にして燃やすと発電効率も上がり、結果的に環境によいと考える。これにより収集・中間処理費用は減、売電収入は増となるので、指定収集袋の価格の見直しなどの検討もお願いしたい。

【生活困窮者自立支援事業について】

生活困窮者の自立及び生活向上を推進していくためには、相談支援員によるサポートや相手の立場に立った丁寧な対応など、積極的なフォローが必要である。また、支援を必要としている人の地域への結び付けや公的支援の案内など、それぞれのケースについての調整役となる「コミュニティソーシャルワーカー」の配置・活躍を期待する。

【平和推進について】

葉山市政以来、歴代の市長は平和行政に積極的に取り組んできた。とりわけ、核兵器廃絶に関しては、被爆地の市長たちとともに全国の自治体をリードする存在であり続けている。昨年6月には、藤沢市で「日本非核宣言自治体協議会設立30周年記念大会」が、広島・長崎以外では初めて開催された。今年は5年に一度の「核兵器不拡散条約再検討会議」がニューヨークの国連本部で開催されるが、鈴木市長が参加を表明し、広島・長崎を過去のものにしないために「核兵器のない世界」の実現に向けた強い意思を世界に示すとのことであった。平和を求める藤沢市民の代表としてアピールすることを大いに期待する。

保育所整備計画（ガイドライン）の改定

4月からスタートする「子ども・子育て支援新制度」、「保育所整備計画（ガイドライン）」及び「放課後児童クラブ整備計画」について計画案が示されました。

1. 保育所整備の具体的な計画（目標）

- (1) 認定こども園への移行推進
市内合計定員 5,552人
- (2) 認可保育所の整備
市内 平成26年度末定員 5,282人
⇒ 平成31年度末定員 6,405人（1,123人増）
- (3) 地域型保育事業（小規模保育事業）の拡充
合計定員 380人
- (4) 公立保育所の整備計画

【しゅやがはら保育園】

寄付された敷地に保育所として定員を現在の120人から140人に拡大した新園舎を建設し、平成28年4月に現園舎から移転します。また、現園舎については、六会保育園の建替えに伴う仮設園舎としての活用を図り、その後は、安全性に配慮したうえで、待機児童の状況等を踏まえながら、有効活用を検討します。

【善行・善行乳児保育園】

現善行市民センターの再整備にあわせた周辺公共施設の機能集約及び複合化の検討対象施設として、善行・善行乳児保育園を一園に合併する計画となっています。再整備にあたっては、定員増も合わせて検討し、平成30年度から工事着手を行い、平成31年4月の開園をめざして準備を進めます。

【藤沢保育園】

文化ゾーンに位置付けられている地区に位置しているため、文化ゾーンの再整備により、市民会館や南市民図書館などの機能集約や複合化が検討されています。基幹保育所としての重要な役割を担う園であり、定員規模も大きいことから、平成28年度の基本構想の策定に向け、最適な施設となるよう、今後関係各課と調整を図っていきます。

【藤が岡保育園】

藤が岡2丁目地区の再整備として、複合化等検討対象施設に位置付けられています。工事期間中の騒音や振動を考慮し、仮設園舎の確保を検討していきます。

2. 放課後児童クラブ整備計画案

児童クラブを利用する児童は、平成31年度において市全体で3,650人と見込んでいます。整備計画案においては、現在の小学校区ごとの利用状況を踏まえ、1クラブ50人定員で整備し、現在45クラブ3,018人の定員を平成32年度には、80クラブ4,000人へ増強する計画となっています。

（仮称）藤澤浮世絵館を整備します

辻堂C-X内のココテラス湘南7階に、床面積約550㎡の藤澤浮世絵館を整備します。主な機能は、浮世絵解説コーナー、東海道五十三次コーナー、藤沢宿コーナー、江の島コーナーなどの展示室や、エントランスホール・ライブラリー・浮世絵ができるまでコーナー・休憩スペース、浮世絵擦り体験などのワークショップや地域歴史講座等の学習の場となる多目的室などです。平成28年7月の供用開始をめざします。

防災ラジオを配布

災害時等において、防災行政無線と連動して、レディオ湘南からの緊急割り込み放送を自動受信する防災ラジオを第1回目分として4,000台を購入し、市民に2,000円で頒布します。なお、私も試験放送をモニター受信しましたが、防災無線も大音量ではっきり聞こえたので、災害時にとても有効だと思います。

ご当地ナンバープレートができます

原付バイク（50cc・90cc・125cc）にご当地ナンバープレートを導入することとなりました。市内外から幅広い支援・協力を募るため、クラウドファンディング（不特定多数の人から寄付を募る）の手法をとります。なお、公募したデザインを3点程度選定し、市民による投票によってデザインを決定します。ナンバーの交付は平成27年12月1日を予定しています。

中学校給食施行開始後のアンケート結果について

善行・湘南台中学校で試行している中学校給食について、生徒・保護者・教員を対象にアンケートを実施しました。

生徒からの回答では、今後の利用希望は52.5%と半数をやや上回った状況でした。

利用希望の理由としては、「栄養のバランス」「豊かな献立」「温かい」「周りの子が食べている」「好きな味」などでした。

希望しない理由としては、「持参したものを食べたい」「注文や受け取りが面倒」「好み合わない」「量が不満」などでした。

保護者からの今後の利用希望は、61.3%と生徒に比べて高く、その理由は、「弁当作りの負担が軽減される」「栄養のバランス」「温かいものを食べさせたい」「豊かな献立」などでした。

希望しない理由としては、「生徒が希望しない」「注文や受け取りが面倒」「生徒の好みに合わない」「量に不満がある」などでした。

どうしたら希望しますか？の問いに対しては、「全員給食にならない限り利用しない」「当日注文が可能になったら」「量の調整が可能になったら」などの回答がありました。

おおや徹 ホームページのご案内

おおや徹ホームページは、開設以来多くの方にご覧いただき、おかげさまで26万回を超えるアクセスをいただいています

議会状況を迅速に報告しているほか、コラムでは趣味の食べ歩きを活かして、近隣の美味しいお店などを紹介しています。藤沢市をもっと良く知って好きになってもらえたらと思いながら更新していますので、是非ご覧ください！

貫徹通信のバックナンバーも掲載しています。

アドレス：<http://www.ohya-toru.com/>

おおや徹

検索



クリック



